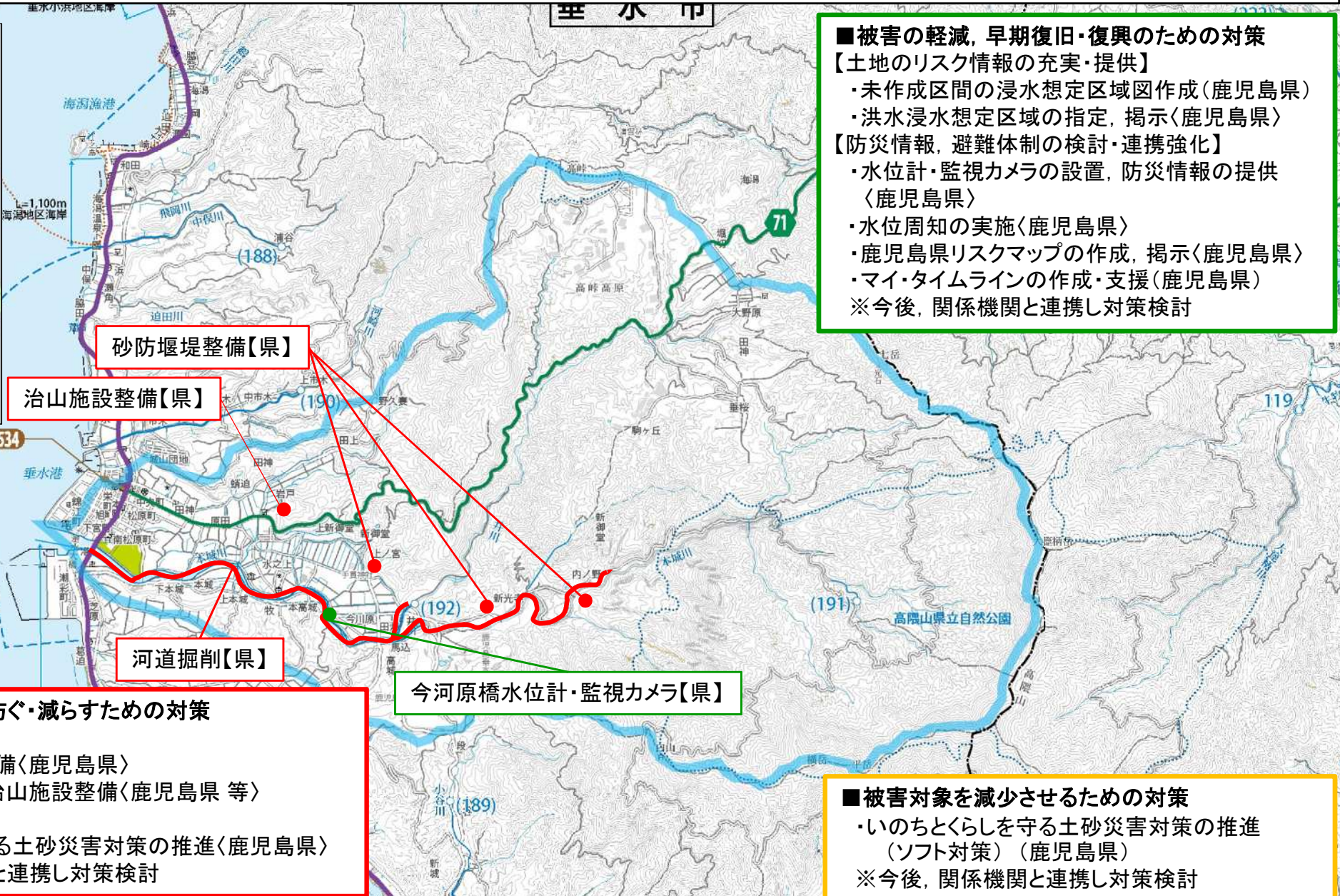


本城川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が発生していることを踏まえ、本城川水系においても、流域内のあらゆる関係者が協働して流域全体で対応する必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。



■被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策
【土地のリスク情報の充実・提供】
・未作成区間の浸水想定区域図作成(鹿児島県)
・洪水浸水想定区域の指定, 揭示(鹿児島県)
【防災情報, 避難体制の検討・連携強化】
・水位計・監視カメラの設置, 防災情報の提供(鹿児島県)
・水位周知の実施(鹿児島県)
・鹿児島県リスクマップの作成, 揭示(鹿児島県)
・マイ・タイムラインの作成・支援(鹿児島県)
※今後, 関係機関と連携し対策検討

砂防堰堤整備【県】

治山施設整備【県】

河道掘削【県】

今河原橋水位計・監視カメラ【県】

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
【洪水氾濫対策等】
・河道掘削, 護岸整備(鹿児島県)
・森林整備・保全, 治山施設整備(鹿児島県等)
【土砂災害対策】
・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進(鹿児島県)
※今後, 関係機関と連携し対策検討

■被害対象を減少させるための対策
・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進(ソフト対策)(鹿児島県)
※今後, 関係機関と連携し対策検討

※具体的な対策内容については, 今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

本城川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○本城川水系では、流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施

土砂災害による流下能力不足防止を目的とした砂防施設、急傾斜地崩壊防止設備の整備、森林の整備・保全、治山施設の整備を実施
土地のリスク情報の充実・提供を行い流域内の被害軽減を目指す。

【中期】流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施

【中長期】流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできる だけ防ぐ・減らす ための対策	洪水氾濫対策(河道掘削等)	鹿児島県	河道掘削, 樹木伐採 等		
	土砂災害対策(ハード対策)	鹿児島県	上の宮川, 内ノ野川, 浜平2地区 等		
	森林の整備・保全, 治山施設の整備	鹿児島県, 垂水市, 森林組合 等	森林整備による流出抑制対策 等 治山施設整備による土砂流出抑制対策 等		
被害対策を減 少させるため の対策	土砂災害対策(ソフト対策)	鹿児島県	土砂災害警戒区域の指定 等		
被害の軽減、 早期復旧・復興 のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	国土交通省, 鹿児島県, 気象庁, 垂水市	水位計・監視カメラの設置, 防災情報の提供 等		
	土地のリスク情報の充実	鹿児島県	洪水浸水想定区域図の作成・公表 等		
	地域の防災力向上	鹿児島県	防災研修, 出前講座, 防災研修センター 等		
	防災学習の推進	気象庁, 垂水市	出前講座, 防災学習 等		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進